

私の弟

高一

私には、弟が一人います。私の弟は障害があり、特別支援学校に通っています。現在六年生です。弟は少し勉強が遅れたりしています。弟は、小学一年生の時から、特別支援学校に通っていて、入学した頃は、字も読めないし書けないし、落ち着いて座っていることができるのかを心配するくらいでした。

一年生の時のクラスメイトは三人で少人数でした。でも、そのクラスで過ごすうちに弟も段々と集団行動に慣れ、落ち着いた行動もとれるようになりしました。三年生、さらに四年生になった頃には、ひらがなの読み書きができるようになり、カタカナも書けるようになりました。

しかし、弟には独特のこだわりがあり、困ってしまうことがあります。弟は、買い物に行つてレジに並ぶ時は必ず一番レジに行くのだとこだわっています。一番レジがたまに閉まっていることが

あるとパニックを起こしてしまいます。その時は、怒って騒いでしまいます。すると、周りにいる人たちはみな一斉に私たちの方に視線を向けて来ます。身近に障害のある人がいないために、障害についての理解がない人は、私たちを不思議な目で見たりします。障害のある人たちは自分がないりたくてなった訳ではないのにと私は思います。

障害のある人と接するヘルパーさんや家族は大変だと思う時もありますが、一番大変な思いをしているのは本人なのではないかと思えます。それはまたお年寄りの場合も同じだと思います。

そのため、私が外出した時に障害のある方や、お年寄りを見かけた場合は助けたいと思えます。

私がこのように思うのは、弟と接しているからだと思えます。弟自身も毎日少しずつ成長していきます。日々弟と接しているうちに、私自身の考え方も変わってきたと思います。弟の面倒を見ることは大変だと思ふ時もありますが、色々な発見や良い経験ができて自分の心の成長にも役立っていると思ふのです。これからも、弟の応援をしていきたいです。